

東郷湖活性化プロジェクト推進会議議事録

平成21年11月27日（金）13時30分～15時00分

発言者	内 容
事務局長	開会と新委員3名の紹介
町長	町長あいさつ
会長	会長あいさつ
平成21年度事業進捗について（環境）	
町民課長	<p>※水草肥料化調査 今年度は9月21日の祝日に行いました。フサモの刈り取りと肥料化、そして一部の参加者の協力によりアシ刈りを行っております。詳細については資料のとおりです。今年度は農家がフサモをもらいたいということで315kg、梨への試みということで50kg提供しています。</p> <p>※魚道設置試験 本年度は未実施。</p> <p>※東郷池を守るアダプトプログラム制度の導入 現在19団体が登録。年2回以上の清掃活動ということで契約を締結している。成果としてゴミの量が平成19年度から比較すると今年は半分以下となっており素晴らしい実績となっている。</p>
建設水道課長	<p>※水質浄化覆砂事業及び効果検証 事業主体は鳥取県です。事業進捗としては覆砂事業を平成21年10月に工事発注している。内容としては15,000m³の覆砂を実施する。22年度についても引き続き覆砂事業を実施する。効果検証については、汚泥等の浄化について委託発注済みです。</p>
産業振興課長	<p>※水草肥料化調査 東郷池クリーンアップ事業について、東郷湖漁協により湖面・湖底の清掃を10月3日～4日に実施している。</p> <p>※シジミの生息環境改善対策 シジミの生息環境改善と増殖を目的として覆砂を10月15日～22日に実施しました。</p>
環境分野における質問など	
町長	水質浄化覆砂事業について、着工時期などの事業内容について町報などに掲載し住民へ周知していきたいと思うので、連絡体制を密にするようお願いする。事務局へ推進会議開催時にはTCCへ連絡すること。
平成21年度事業進捗について（観光）	
産業振興課長	<p>※湖産物料理メニュー化促進 商工会活性化委員会の活動によるものであるが、シジミの創作料理、レシピを作成し対外的にPRするものである。平成19年から取り組んでいるが、今年度は泊大漁まつりをはじめとしたイベント時にシジミ汁などを振る舞った。</p> <p>※観光客誘致 毎年12月から3月末まで実施しているカニバスによるものであるが、昨</p>

	<p>年度の6, 022人を超える実績となるよう今年度も頑張りたい。</p> <p>※特産品販売促進活動 梨の花温泉郷事業として、名古屋市において二十世紀梨の販売、観光宣伝を実施しました。また、新しい取り組みとして東京のアンテナショップでJA職員と共に二十世紀梨の販売、抽選会などの観光宣伝活動をした。</p> <p>※観光商品造成戦略活動 観光客の誘致宣伝について、全国各地でキャラバンを組み随時実施している。現行の梨選果場見学ツアー・滝床料理・野花梅溪ツアーについても来年3月より実施する予定である。また、JAL（日本航空）の通販カタログに二十世紀梨の贈答プランについて協議を進めている。</p>
観光分野における質問など	
委員	湖産物料理メニュー化促進について取り組んでいるが、シジミの価格が高いために使用しにくいというような問題点がある。
町長	先日の商工会との懇談会において、町内向けの価格を設定できないものかという要望があった。漁業協同組合の方での意見はどうか？
委員	県外に発送している運送費の部分を安くすることは考えられるが、価格が下がっているので状況を見ながら検討する必要がある。
町長	商工会関係者などと協議する場を設け検討をお願いしたい。
平成21年度事業進捗について（産業）	
産業振興課長	<p>※水源域森林育成作業 とっとり共生の森事業で現在も候補地となっているが現在進展していない。鉢伏山の生活環境保全林内での植林体験事業などを検討したが、適地が無かったため再検討していきたい。</p> <p>※エコファーマーの推進 今年エコファーマーの認定者が6名増加し1, 107名となりました。JAでは栽培暦が減農薬・減化学肥料のものに変更されている。鳥取県特別栽培農産物認証制度については、認証を受けるにはレベルアップが必要であるため、引き続き推進を図っていくものであります。</p>
産業分野における質問など	
事務局長	補足として水源域森林育成作業について、三朝町で森林組合が分収造林により広葉樹を植栽している。いつまでも共生の森事業としているわけにもいけないので、そのような事業についても今後検討していきたい。
委員	宮内のキツネ塚付近の原生林が古墳の保存に伴い伐採されている。樹木の保存についても検討を願いたい。
委員	宮内については、伐採せず現状のままが良いのではないかと思う。古墳周辺については看板・道路などの整備が必要である。例えば東郷池が望められるような様な広場の整備が必要である。
平成21年度事業進捗について（資源）	
企画課長	<p>※稚魚放流調査 毎年12月に取り組んでいるサケ飼育放流プロジェクトですが、今年も取り組みを実施し3月には小学校と共に放流したいと考えております。</p>

	<p>※東郷湖活性化シンポジウム 5周年記念と同時期に開催いたしました。財源として自治総合センターシンポジウム助成事業を活用して、記念講演・パネルディスカッションを実施しました。また会場内に特産品試食コーナーとパネル展示を設置いたしました。</p> <p>※東郷池ロハスプロジェクト 地方の元気再生事業として21,600千円の調査費により、国土交通省の委託事業として現在実施しているものであります。9月のシルバーウィークにあわせてポンポン船の運航、シジミ採り、松崎駅前の賑わいなどの実証実験を行いました。結果については資料のとおりですが、シジミ採りとポンポン船の運航があった期間に集客力が集中しています。シジミは禁漁の関係もあり2日間分しか確保できなかったこと、ポンポン船は運航規制の関係で3日間の運航が限度であったことが残念でした。</p> <p>※ゆりはま塾 今年度は2回実施。3月にあと1回実施予定であり、その際にこれまでの結果を踏まえた報告会を行うように考えている。</p> <p>※湯梨浜夏まつり 天候に恵まれなかったが、予定どおり花火を打上げることができた。</p> <p>※東郷湖活性化プロジェクト推進会議 現在進行中であります。</p>
産業振興課長	<p>※ホワイトライアスロン in 湯梨浜 東郷池を中心に5月24日に第1回目を開催しました。選手256名、ボランティア約600名であった。湯梨浜町の観光振興ならびに県内外への情報発信に繋がったと感じている。来年は5月23日に第2回目を開催する予定であります。</p>
建設水道課長	<p>※観光ルート整備 不動滝への町道の改良、倭文神社の大型観光バス駐車場の整備ということで進めてきました。進捗状況は観光案内板の標識設置を発注しており、県道の中に設置予定であります。場所は松崎駅付近、方地入口、福永入口です。あと道路改良ということで、不動滝線と倭文神社の大型観光バス駐車場の整備を今月発注予定です。</p>
生涯学習・人権推進課長	<p>※東郷荘絵図活用導入事業 調査研究事業については、東京大学資料編纂所が今年度はまだ来町されておらず、昨年度同様に3月頃となる見込みです。環境整備事業の看板については、8月末に文化財保護委員会を開催し様々な意見をいただきました。現在、説明板の内容、場所について調整中であり今年度には発注する予定です。</p>
事務局長	<p>※中華コスプレ・プロジェクト 春の日本大会、秋のアジア大会が定着してきています。アジア大会については、国内100名・国外50名の参加がありました。</p> <p>※東郷湖ドラゴンカヌー大会</p>

	100チームを超える参加がありました。
資源分野における質問など	
会長	トライアスロンの町内外の参加者内訳はどうか
事務局長	確たる資料が手元にありませんが、県外者が多かったようで特に関西圏の方が多かったようでした。年齢層については20代前半から70代前半までの方の参加がありました。
委員	ロハスプロジェクトについて来年以降も実施するのか。また広報による周知が薄かったのではないかと。
企画課長	広報についてはTCCでのお知らせと町報で2回掲載し、シルバーウィークの時期については日本海新聞にお知らせ版を25万部折り込み配布しました。これによる集客はあったが、シジミ採りは1回あたりの人数が100名、ポンポン船の1便が80名程度であったため、大きな数字としての実績になってはいません。なお、来年度以降については当事業が廃止される可能性があるため、他事業として継続させるなどについては検討中でございます。
委員	ロハス、トライアスロンともに事業の分析をして次回以降に参加者が増加するよう活用していただきたい。
委員	東郷湖羽合臨海公園のあやめ池付近の軟弱地盤について調査する予定である。調査した結果をもとに、皆様のご意見を参考とし事業を進めていきたいことから推進会議の事業の一つとして位置づけていただきたい。
会長	全く問題ないことだと思いますので、次回以降から位置付けましょう。
今後の推進会議の体制について（事務局より提案）	
事務局	<p>提案は2点であります。1点目については、環境から資源までの各分野における具体的目標は従来から設定されていますが、こちらに数値を掲げてより具体的な目標とするものであります。</p> <p>数値目標の設定根拠ですが、環境分野「東郷池の水質（COD）4.5mg/l」については、平成20年3月に東郷池水質管理計画が作成されており、この中で中間目標・最終目標ともに4.5mg/lと設定されているものによるものであります。参考として湖山池と宍道湖の平成18年から平成20年までの状況を報告。</p> <p>観光分野「観光人口（宿泊客）年間20万人」については、第1次湯梨浜町総合計画の重点課題となっているものによるものです。</p> <p>産業分野「シジミ漁獲量年間200トン」については、県内外より需要の高い水産物でもあり、また水質浄化の効果を持ち合わせているシジミの安定した漁獲量を設定するものであります。</p> <p>資源分野「各事業の目標値を90%以上」については、各事業で目標とする参加者数、ボランティア数、関係団体数などについて90%以上達成させるものです。</p> <p>2点目の提案については、事業実施主体と推進会議の役割を追加するものであります。下記①～⑥について説明。</p> <p>①他団体との連携を推進会議に提案</p>

	<p>②実施主体間の連携・調整・検討</p> <p>③重点事業への取り組み</p> <p>④各事業に対する提言</p> <p>⑤提言に対する検討</p> <p>⑥事業実績の検証</p>
委員	数値目標を掲げるのは良いが、環境分野の魚道設置試験は何を目標に何を検証するのか？今回設定した数値目標に対して何が反映できるのか？
事務局長	この事業は簡単に記載されていますが、魚道を設置しなければならない事となっており、その箇所が4ヶ所あったと思います。それにより最下流に1ヶ所魚道を設置したわけですが、遡上があるのかどうかなどについては試験場のほうで検証されています。なお上流域については水量不足により魚道を設置しても意味が無い事が判明しております。よってこれ以上の進展は無いのが現状です。
委員	東郷湖を「町の宝」としてあるが、中部の宝などでも良く町に固執する必要はないのではないかと。
町長	中部の宝、県の宝となることは願うことですが、まずは地域住民が意識を共有することから始めようという思いから「町の宝」と表現しています。
企画課長	前回、部会制による運営が良いのではないかという意見がありましたが、現状は実施主体がそれぞれ活動しておりますので、次の段階への検討課題ということで理解をお願いします。
町民課長	具体的目標の最終年度が平成27年度となっているが、それはどのように決定されたのか。
企画課	東郷池水質管理計画と湯梨浜町総合計画の最終年度を準用して設定しました。
町民課長	資源分野の「各事業の目標値を90%以上達成」について、それぞれの事業に現在目標値が設定されているのか。
企画課長	各実施主体において設定していただき、その目標値に向かって推進していただければ良いです。
会長	それでは2つの提案については原案どおりとします。
その他	
事務局長	東郷湖活性化シンポジウムでの福井さんの提案が推進会議なり町への宿題であると考えます。それは大きな「物語」を描き、それに向かい皆さんが努力していくことではありますが、現在はそれが出来ていませんので今後皆さんからの意見をいただき進めていきたいと考えます。
委員	このような推進会議という取り組みをなされている市町村は県内でも無いと思います。ぜひ住民へ呼びかけ様々な視点からの意見を募集されてみるのも良いと思います。
企画課長	次回の会議は今年度の実績検証を含め4月以降でも良いでしょうか。 (委員からの意見は特になし)
会長	それでは以上で閉会します。